

京都の伝統的工芸品産業

京友禅京小紋生産量 調査報告書

令和6年度分

(自 令和5年12月1日 ～ 至 令和6年11月30日)

京友禅協同組合連合会

ま え が き

令和5年12月から令和6年11月までの1年間における令和6年度分京友禅（京小紋を含む）生産量について調査を実施し、このほどその結果を取りまとめ、発表する運びとなりました。

この調査は、統計の継続的利用を考慮して、基本的にはこれまでと同様の方法で実施しましたが、傘下の京都誂友禅工業協同組合の解散を受け、誂染生産量については、調査対象から除外せざるを得ないこととなりました。

今回の調査の結果、令和6年度分の総生産量は230,211反で、前年度比6.1%の減少となりました。生活様式の変化や価値観の多様化、少子高齢による人口減少などもあって、長期的に減少傾向にあり、最盛期の昭和46年度（16,524,684反）の1.4%にまで減少しています。京友禅業界のおかれている環境は、大変厳しい状況が続いています。

令和7年3月に公表された内閣府の月例経済報告によると「景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響や、通商政策などアメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。」とされています。

人の移動や経済活動は、新型コロナ禍前の状況に戻り、海外からの旅行者も、過去最多を記録するなど日本の「和」の文化に憧れ、多数の方が訪れています。“きもの”は、「和」の文化の象徴的な存在であり、特に、京友禅、京小紋のきものは、優れた技術の結晶と言うべきものです。これをその技術とともに継承していくことは、日本のアイデンティティに関わる重要な課題だといえます。

当連合会としまして、京友禅産地のおかれている厳しい状況を踏まえ、行政、和装業界や産地組合等との連携をさらに強化し、和装需要の創出を図るとともに、伝統的な京友禅・京小紋の技術を基礎としながら、海外展開を視野に入れた新商品開発を行うなど新しい挑戦に取り組んでまいりたいと存じます。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力いただいた関係各位に深く謝意を表しますとともに、この調査結果をご活用いただき、京友禅の振興のために一層のご支援、お力添えを賜りますようお願いいたします。

令和7年3月

京友禅協同組合連合会

理事長 山田 容永

目 次

○ 調査要領	3
○ 令和6年度分 京友禅京小紋生産量調査結果の概要	
1 総生産量について	4
2 従事者数規模別の生産数量	5
3 染色加工技術別の生産数量	6
4 素材別の生産数量	7
5 品目別の生産数量	7
6 指定伝統的工芸品「京友禅」、「京小紋」別の生産数量	9
7 染帯の生産数量	9
8 むすび	10

調 査 要 領

1. 調査対象期間

令和5年12月1日から令和6年11月30日までの1ヵ年間

2. 調査対象の事業所

京都友禅協同組合	42事業所
京都工芸染匠協同組合	31 //
京都手描友禅協同組合	9 //
京都引染工業協同組合	3 //
計	85 //

(註) 令和5年度までは仕入染と詔染に区分して調査していたが、詔染を行っていた京都詔友禅工業協同組合が令和6年4月末に解散したため、今回の調査では、詔染を調査していない。

3. 調査方法

対象組合を通じて、各組合の組合員事業所へ調査票を配布し、令和6年12月23日までに各所属組合へ提出を求め、組合は調査表の記載内容について点検・整理を行い、これを集計して令和7年1月24日までに連合会へ提出し、さらに連合会において点検、整理を実施して集計・分析を行った。

調査の内容は、次の項目としている。

- (1) 生産量（仕入染のみを対象としている。）
- (2) 型染、手描染、ろうけつ染、機械捺染・インクジェットの染色加工技術別生産量
- (3) 正絹、合化繊の素材別生産量
- (4) 着尺、羽尺、振袖、訪問着などの品目別生産量
- (5) 京友禅、京小紋の分類別生産量
- (6) 各事業所の従業者規模別生産量

4. 調査結果のまとめ

調査票の集計及び調査結果の分析は、本連合会事務局で行った。

令和6年度分 京友禅京小紋生産量調査結果の概要

1. 総生産量について

令和6年度における京友禅（京小紋を含む。以下同じ）の総生産量は、統計表の表－1のとおり、230,211反で、前年度の245,081反に対して93.9%となった。昭和46年度の16,524,684反をピークに、その後、減少傾向が続いている（例外：平成20年度、平成30年度、令和4年度等）。

10年前の平成26年度を100とした場合、令和6年度は54.5%で、ほぼ半減している。京友禅業界のおかれている環境は、長期減少傾向に新型コロナ感染症による大きなダメージが加わり、そこからの回復が進まず、厳しさに拍車がかかった状況が続いている。

統計表の表－1から染色加工技術別に前年度と比較すると、型染が34,872反（前年度43,533反）で80.1%、手描染が23,826反（前年度28,557反）で83.4%、ろうけつ染が905反（前年度1,446反）で62.6%、機械捺染が105,750反（前年度109,066反）で97.0%、インクジェットが64,858反（前年度62,479反）で103.8%となっている。ろうけつ染は、もともと生産量が少なく、541反の減少が比率としては大きく低下したが、型染が8,661反減、手描染が4,731反減、機械捺染が3,316反減となっている。増加傾向の中、前年度減少したインクジェットは2,379反増となった。

なお、今回から詔染生産量を調査対象から除外しているため、過去のデータとの一貫性については、留意する必要がある。（ただし、詔染生産量も調査していた令和5年度の調査では、詔染の占める割合は0.4%であった。）

京友禅生産量の推移

（単位：％）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
平成26年度を100とする趨勢	97.9	88.9	86.3	92.1	88.2
各年度の前年度対比の増減率	△2.1	△9.2	△3.0	6.8	△4.2

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
平成26年度を100とする趨勢	65.2	62.5	66.0	58.0	54.5
各年度の前年度対比の増減率	△26.0	△4.1	5.6	△12.1	△6.1

平成26年度を100.0とした比率

2. 従事者数規模別の生産数量

京友禅業界の染色加工技術は大きく5分類され、さらにその生産加工は、多岐にわたる専門分業形態により行なわれている。調査対象となったこれら事業所について、従事者の規模別に生産量をみると次のとおりである。

まず、事業所について、従事者の規模別にその分布状況をみると、1～3人が52.9%、4～5人が18.8%、6～10人及び11～15人が10.6%、21～30人が4.7%、16～20人が2.4%の順となっている。10人以下の事業所は全体の82.3%を占めている。なお、前年度あった31～40人が0となり、31人以上の事業所はなくなった。

また、規模別に構成比を前年度と比較すると、ウェイトが増加したのは4～5人が13.9%から18.8%、21～30人が4.6%から4.7%、16～20人が0.9%から2.4%となった。一方、減少したのは1～3人が55.6%から52.9%、6～10人及び11～15人が12.0%から10.6%となった。

次に、1事業所当りの平均生産量をみると2,708反で、前年度の2,269反と比べ119.3%となっている。これを事業所従事者の規模別にみると、11～15人が12,229反と最も多く、次いで16～20人が11,861反、21～30人が10,336反の順となっており、11人以上の事業所が平均を上回っている。

また、従事者1人当りの平均生産量をみると、490反で前年度の428反と比べ114.5%となっている。これを規模別にみると、11～15人が1,029反と最も多く、次いで16～20人が641反となっており、この2階層が平均を上回っている。

なお、規模別生産量の構成比では、11～15人の事業所が全生産量の47.8%と最も高くなっており、11人以上は76.1%、10人以下は23.8%となっている。

従事者数規模別の生産数量

(単位：反)

区 分	1～3人	4～5人	6～10人	11～15人	16～20人
規模別企業数	45	16	9	9	2
同上構成比	52.9%	18.8%	10.6%	10.6%	2.4%
1企業平均生産量	258	1,516	2,134	12,229	11,861
平均1人当り生産量	137	347	263	1,029	641
規模別生産量構成比	5.0%	10.5%	8.3%	47.8%	10.3%

区 分	21～30人	31～40人	41～50人	51～人	計
規模別企業数	4	0	0	0	85
同上構成比	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1企業平均生産量	10,336	0	0	0	2,708
平均1人当り生産量	422	0	0	0	490
規模別生産量構成比	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

3. 染色加工技術別の生産数量

統計表の表－2から染色加工技術別に型染、手描染（ろうけつ染を含む）、機械捺染及びインクジェットの生産数量をみると、型染が34,872反（前年度43,533反）、手描染が24,731反（前年度30,003反）、機械捺染が105,750反（前年度109,066反）、インクジェットが64,858反（前年度62,479反）となっている。

全生産数量に占める割合でみると、機械捺染が45.9%（前年度44.5%）と最も多く、次いでインクジェットが28.2%（前年度25.5%）、型染が15.1%（前年度17.8%）、手描染が10.7%（前年度12.2%）となっており、インクジェットの占める割合が近年上昇している。

次に、生産量を前年度比で比較すると、型染が80.1%、手描染が82.4%、機械捺染が97.0%と減少し、インクジェットが103.8%の増加となっている。

また、生産量指数の趨勢について、平成26年度を100として令和6年度をみると、型染が28.7%、手描染が28.8%と大きく減少した。一方、機械捺染（ここではインクジェットを含む。）は、79.4%となり、減少幅は小さくなっている。

染色加工技術別の生産数量指数趨勢

（単位：％）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
型 染	89.8	82.5	68.9	65.5	55.9
手 描 染	93.6	77.4	82.4	69.3	59.6
機 械 捺 染	104.2	97.1	97.6	116.3	117.9

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
型 染	44.0	41.0	44.2	35.8	28.7
手 描 染	35.6	33.1	33.6	35.0	28.8
機 械 捺 染	89.1	86.5	91.3	79.8	79.4

平成26年度を100.0とした比率（平成19年度から機械捺染にはインクジェットを含む）

4. 素材別の生産数量

統計表の表－3から染色素材である正絹、合化繊について、それぞれの生産数量をみると、正絹が150,719反（前年度168,508反）、合化繊は79,492反（前年度76,573反）となっている。

これを生産数量に占める割合でみると、正絹は65.5%（前年度68.8%）、合化繊は34.5%（前年度31.2%）となっており、ここ10数年正絹は72%～79%で推移していたのが、前年度から70%を下回ることとなった。

次に、生産量を前年度比で比較すると、正絹は89.4%、合化繊は103.8%と増加している。

また、生産量の趨勢について、平成26年度を100として令和6年度をみると、正絹は45.1%と半減する一方、合化繊は約9割の水準となっている。いずれも、令和2年度から大きく落ち込みを見せているが、正絹の落ち込みが大きく、合化繊は持ち直しの傾向がみられる。

素材別の生産数量指数趨勢

（単位：%）

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度
正 絹	96.1	83.7	79.1	84.9	83.8
合 化 繊	104.8	108.5	113.6	119.4	104.9

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
正 絹	63.1	61.9	62.2	50.4	45.1
合 化 繊	73.2	64.9	80.4	87.0	90.4

平成26年度を100.0とした比率

5. 品目別の生産数量

統計表の表－4から品目別に生産数量を見ると、着尺が118,427反と、全生産量の51.4%を占め、次いで振袖が72,722反、31.6%、四ツ身、一ツ身が6,390反、2.8%、長襦袢が5,890反、2.6%、染帯が4,830点、2.1%、訪問着が4,607反、2.0%、つけさげが4,201反、1.8%、の順となっており、前年度と比べ、トップ2の順位は変わらなかったが、四ツ身、一ツ身が第6位から第3位に上昇しているのが目に付く。

次に、生産量を前年度比で比較すると、減少量の大きい順に、着尺が△3,730（△3.1%）、振袖が△2,445反（△3.3%）、長襦袢が△2,141反（△26.7%）、染帯が△1,776反（△26.9%）などとなっている。増加したのは、四ツ身、一ツ身が2,194反増（152.3%）、留袖が643反増（163.8%）となり、全体が6.1%減少する中で、率としては大きく増加している。

品目別に構成比を前年度と比較すると、着尺が49.8%から51.4%、振袖

が30.7%から31.6%、四ツ身、一ツ身が1.7%から2.8%に伸びるなどしている。

品目別の生産数量構成比

(単位：%)

区 分	着 尺	つ け さ げ	羽 尺	染 帯	四ツ身 一ツ身	四ツ身 一ツ身 絵 羽	長襦袢
平成26年度	44.8	2.4	0.1		1.1	1.4	14.7
平成27年度	42.2	1.9	0.1		1.6	0.9	16.5
平成28年度	43.9	1.9	1.7		1.4	1.3	11.4
平成29年度	46.0	1.5	1.3		1.3	1.3	10.2
平成30年度	41.7	2.2	1.0	2.8	1.2	1.0	14.9
令和1年度	38.9	2.4	1.0	2.5	1.2	1.1	17.0
令和2年度	36.6	1.9	0.9	3.0	1.6	1.0	15.6
令和3年度	36.9	2.4	0.1	2.9	1.4	1.2	14.1
令和4年度	39.9	1.4	1.0	2.7	2.0	0.7	10.7
令和5年度	49.8	1.7	0.7	2.7	1.7	0.9	3.3
令和6年度	51.4	1.8	0.6	2.1	2.8	0.4	2.6

区 分	肩裏	訪問着	振 袖	留 袖	熨斗目	その他	計
平成26年度	4.2	6.8	19.4	1.8	0.6	2.7	100.0
平成27年度	5.1	5.7	19.8	2.2	0.6	3.4	100.0
平成28年度	4.1	6.1	22.0	1.6	0.7	3.9	100.0
平成29年度	3.5	5.5	21.2	1.5	0.5	6.2	100.0
平成30年度	4.4	3.8	17.8	1.2	0.4	7.6	100.0
令和1年度	6.6	3.2	17.9	0.9	0.5	6.8	100.0
令和2年度	5.6	2.7	25.9	0.4	0.6	4.2	100.0
令和3年度	5.3	1.8	28.5	0.1	0.7	4.6	100.0
令和4年度	4.3	1.7	29.9	0.2	0.7	4.8	100.0
令和5年度	1.1	1.9	30.7	0.4	0.7	4.4	100.0
令和6年度	0.9	2.0	31.6	0.7	0.7	2.4	100.0

平成30年度から染帯を含めたため、過年度比較は単純にできない。

6. 指定伝統的工芸品「京友禅」、「京小紋」別の生産数量

経済産業大臣指定伝統的工芸品としての指定技法区分を基準とした「京友禅」、「京小紋」のそれぞれの範囲に入るものに区分した生産数量を統計表の表－1でみると、「京友禅（型染、手描染、ろうけつ染）」は53,852反（前年度65,985反）であり、「京小紋」は1反（前年度874反）となっている。

それぞれの生産数量に占める割合は、京友禅は23.4%（前年度27.0%）、京小紋は100.0%（前年度100.0%）となっている。

また、「京友禅」、「京小紋」合わせた生産量は53,853反で前年度（66,859反）の80.5%に減少している。また、総生産数量に占める割合は23.4%（前年度27.3%）となっており、減少している。

7. 染帯の生産数量

統計表の表－1から染帯の生産数量をみると、4,830点で、前年度（6,606点）と比べると73.1%となっている。

これを染色加工技術別にみると、手描染が3,031点と62.8%、型染が1,373点で28.4%、ろうけつ染が271点で5.6%、インクジェットが145点で3.0%となっており、機械捺染は10点で0.2%となっている。

また素材別でみると、合化繊は手描染に50点があるのみで、その他はすべて正絹となっている。

染帯の生産数量

区 分		型 染	手 描 染	ろうけつ 染	機械捺染	インクジ ェット	計
令和 1 年	生産数(点)	5,172	3,794	436	0	53	9,455
	構成比(%)	54.7	40.1	4.6	0.0	0.6	100.0
令和 2 年度	生産数(点)	4,884	2,734	261	152	133	8,164
	構成比(%)	59.8	33.5	3.2	1.9	1.6	100.0
令和 3 年度	生産数(点)	4,541	2,832	194	0	47	7,614
	構成比(%)	59.6	37.2	2.5	0.0	0.6	100.0
令和 4 年度	生産数(点)	4,272	2,969	343	0	36	7,620
	構成比(%)	56.1	39.0	4.5	0.0	0.5	100.0
令和 5 年度	生産数(点)	3,442	2,799	337	0	28	6,606
	構成比(%)	52.1	42.4	5.1	0.0	0.4	100.0
令和 6 年	生産数(点)	1,373	3,031	271	10	145	4,830
	構成比(%)	28.4	62.8	5.6	0.2	3.0	100.0

8. むすび

令和6年度分の調査結果は、前述のごとく総生産数量は230,211反となり、前年度比で93.9%となった。ここ10年間をみても、対前年度比で増加したのは平成30年度と令和4年度のみである。長年にわたる減少傾向に加え、新型コロナウイルスの影響からの回復が進まない状況となっており、最盛期（昭和46年度）の1.4%にまで減少している。このように京友禅業界のおかれている環境は、大変厳しいといえる。

そういう中で、染色加工技術別に10年間の趨勢をみると、機械捺染（インクジェットを含む。）は約8割をキープしているが、型染や手描染は3割弱に大きく減少している。また素材別にみても、正絹は全生産量の7割を切るようになっている。一方、品目別構成比の10年間の趨勢を見ると、振袖が2割弱から3割以上を占める一方、訪問着は7%弱から2%程度に減少している。今後の少子化の影響を考えると、振袖にも少なからず影響があるものと考えられる。また、四ツ身、一ツ身が令和6年度は対前年度比約1.5倍と大きく増加したが、ライフイベントにおけるきものの再評価につながることを期待したい。

京友禅業界は小幅染色の委託加工が中心であることから、生産加工数量の増減は、売上額（工賃収入）に影響するものである。個々の事業所にとって、経営や技術の継承の困難などといった産地の諸課題をいかに克服するか、大きな問題である。

今後一層、行政や業界関係者等と連携を図りながら、需要開拓や意匠開発、京友禅ブランド対策の充実はもとより、生産基盤の整備や後継者育成等事業者の支援対策を推進していくとともに、令和3年度より進めているシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムの枠組みを活用し、従来の枠を越えた取り組みの推進に努めていくこととしたい。

統計表の目次

令和6年度分京友禅総生産数量表.....	[1]
----------------------	-----

(技法別、素材別、品目別)

年度別染色加工技術別生産数量表.....	[2]
----------------------	-----

年度別素材別生産数量表.....	[3]
------------------	-----

年度別品目別生産数量表.....	[4]
------------------	-----

令和6年度分 京友禅総生産量表

(表-1)

(単位 反)

区 分	型 染		手 描 染		ろ う け っ 染		機 械 捺 染		インクジェット		合 計
	本 絹	合 化 繊	本 絹	合 化 繊	本 絹	合 化 繊	本 絹	合 化 繊	本 絹	合 化 繊	
着 尺	7,660	910	5,120	100	339		39,893	64,335	69		118,426
つ け さ げ	293		3,823	50	35						4,201
羽 尺	46		1,092		208					25	1,371
染 帯	1,373		2,981	50	271		10		145		4,830
四ツ身、一ツ身	939	3,000	268						257	1,926	6,390
四ツ身、一ツ身絵羽	20	400	248	150					148		966
長 襦 袢	260	200	4,190				1,240				5,890
肩 裏	1,330		655				108				2,093
絵 羽	117	68	126								311
訪 問 着	143		1,661	50	52		154		278	2,269	4,607
振 袖	14,474		569				10		54,466	3,203	72,722
小 袖			5								5
打 掛			11						4		15
留 袖	1,078		567						6		1,651
熨 斗 目	1,133		218						24	198	1,573
ふ と ん 地			3								3
和 装 小 物	97	500	964								1,561
身 辺 細 貨 地	262		207								469
そ の 他	297	272	717						54	1,786	3,126
計	29,522	5,350	23,425	400	905		41,415	64,335	55,451	9,407	230,210
小 紋 着 尺 地			1								1
小 紋 羽 織 地											
そ の 他 小 紋											
計			1								1
総 合 計	34,872		23,826		905		105,750		64,858		230,211

年度別加工技術別生産数量表

(表-2)

(単位 反)

年度別		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
区分												
型染友禅	本	絹	107,914	95,809	85,693	71,759	67,849	60,149	45,815	43,674	47,083	29,522
	合	化	13,777	13,521	14,741	12,106	11,814	7,892	7,765	6,205	6,467	5,350
	ウ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	小	計	121,691	109,330	100,434	83,865	79,663	68,041	53,580	49,879	53,798	34,872
手描友禅	本	絹	84,723	79,274	65,646	70,058	58,770	50,854	30,257	28,221	29,793	24,331
	合	化	1,000	1,000	703	540	600	200	220	131	210	400
	小	計	85,723	80,274	66,349	70,598	59,370	51,054	30,477	28,352	30,003	24,731
	本	絹	101,985	101,658	80,812	77,073	113,341	123,737	84,986	80,308	73,510	41,415
機械擦染	合	化	69,270	72,230	73,580	80,550	85,315	75,880	50,133	44,556	62,090	64,335
	ウ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	小	計	171,255	173,888	154,392	157,623	198,656	199,617	135,119	124,864	127,448	105,750
	本	絹	39,713	44,626	47,771	45,450	43,898	45,407	50,020	54,847	58,839	55,451
インクジェット	合	化	3,932	5,409	6,442	6,766	7,315	8,282	6,325	6,163	7,806	9,407
	小	計	43,645	50,035	54,213	52,216	51,213	53,689	56,345	61,010	68,813	64,858
	合	計	422,314	413,527	375,388	364,302	388,902	372,401	275,521	264,105	278,842	230,211

昭和43年度分～平成25年度分は省略

年度別素材別生産数量表

(表-3)

(単位 反)

区分	年度別	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本 絹	型 染 友 禪	107,914	95,809	85,693	71,759	67,849	60,149	45,815	43,674	47,083	37,066	29,522
	手 描 友 禪	84,723	79,274	65,646	70,058	58,770	50,854	30,257	28,221	28,633	29,793	24,331
	機 械 捺 染	101,985	101,658	80,812	77,073	113,341	123,737	84,986	80,308	73,510	46,976	41,415
	インクジェット	39,713	44,626	47,771	45,450	43,898	45,407	50,020	54,847	58,839	54,673	55,451
	小 計	334,335	321,367	279,922	264,340	283,858	280,147	211,078	207,050	208,065	168,508	150,719
合 化 繊	型 染 友 禪	13,777	13,521	14,741	12,106	11,814	7,892	7,765	6,205	6,715	6,467	5,350
	手 描 友 禪	1,000	1,000	703	540	600	200	220	131	150	210	400
	機 械 捺 染	69,270	72,230	73,580	80,550	85,315	75,880	50,133	44,556	53,938	62,090	64,335
	インクジェット	3,932	5,409	6,442	6,766	7,315	8,282	6,325	6,163	9,974	7,806	9,407
	小 計	87,979	92,160	95,466	99,962	105,044	92,254	64,443	57,055	70,777	76,573	79,492
ウール	型 染 友 禪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	機 械 捺 染	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		422,314	413,527	375,388	364,302	388,902	372,401	275,521	264,105	278,842	245,081	230,211

昭和43年度分～平成25年度分は省略

年度別品目別生産数量表

(表-4)

(単位 反)

区分	回数 年度別	第47回 平成26年度	第48回 平成27年度	第49回 平成28年度	第50回 平成29年度	第51回 平成30年度	第52回 令和元年度	第53回 令和2年度	第54回 令和3年度	第55回 令和4年度	第56回 令和5年度	第57回 令和6年度
着	尺	189,392	174,605	164,788	167,715	162,283	144,946	100,836	97,504	111,249	122,157	118,427
つ	け さ げ	10,207	7,731	7,090	5,533	8,722	8,787	5,293	6,297	4,034	4,156	4,201
羽	尺	272	398	6,196	4,758	3,945	3,785	2,420	348	2,728	1,764	1,371
染	帯					10,697	9,455	8,164	7,614	7,620	6,606	4,830
四ツ身、一ツ身		4,511	6,613	5,098	4,914	4,633	4,372	4,493	3,671	5,444	4,196	6,390
四ツ身、一ツ身 絵羽		5,935	3,628	4,887	4,903	3,854	4,072	2,802	3,235	1,875	2,088	966
長 襦		62,236	68,087	42,831	37,266	58,111	63,371	42,913	37,367	29,827	8,031	5,890
肩 裏		17,743	20,992	15,556	12,672	16,948	24,536	15,513	13,906	11,954	2,734	2,093
絵 羽 織		255	643	889	548	298	502	457	159	85	216	311
訪 問 着		28,602	23,672	23,021	20,135	14,922	11,851	7,534	4,876	4,668	4,727	4,607
振 袖		81,997	81,720	82,541	77,093	69,086	66,616	71,325	75,365	83,425	75,167	72,722
小 袖		11	10	15	0	22	0	4	10	11	16	5
打 掛		271	209	135	217	331	153	96	56	98	19	15
留 袖		7,732	9,230	6,155	5,496	4,691	3,499	992	299	470	1,008	1,651
裃 斗 目		2,641	2,338	2,524	1,927	1,622	1,874	1,554	1,876	2,070	1,726	1,573
そ の 他		10,509	13,651	13,662	21,125	28,737	24,582	11,125	11,522	13,284	10,470	5,159
計		422,314	413,527	375,388	364,302	388,902	372,401	275,521	264,105	278,842	245,081	230,211

昭和43年度分～平成25年度分は省略

